



全ての児童生徒に安心できる学びの場を

令和7年 2月

1

どこに相談したらいいの？ ～相談窓口～

宗像市では、「支援が必要な子供たちが学びにつなげられるようにすること」「全ての学校を誰もが安心して学べる場」にすることを推進しています。相談窓口の一覧は、右のQRコードよりご確認ください。



2

お子さんに合った支援は どのように選べばいいの？ ～連携体制～

A 登校状況
(児童生徒)

支援の内容
(学校との連携)

悩みや不安がない。
毎日学校に登校する
ことができている。

A

引き続き ご家庭での見守り ご支援をお願いします。
気になることがあるときは 学校(まずは担任)に ご相談ください。

B

何か悩みや不安を
抱えている。
不定期に学校を
休んでいる。
休みがちである。
遅刻しがちである。

B

「チーム学校」として支援を進めます。お子さんの状況や要望等を学校(担任や養護教諭等)にお伝えください。お子さんに合った具体的な支援の在り方を検討します。

**安心
できる**



【人(窓口)】

- ・担任
- ・養護教諭
- ・その他

【場所】

- ・教室
- ・別室
- ・その他

【学び方】

- ・内容(易しい ⇄ 難しい)
- ・人数(多い ⇄ 少ない)
- ・教材(ICT ⇄ 紙媒体)



※学校によって支援体制は異なりますが、お子さんの状況
や要望を踏まえて適切な支援体制づくりに努めます。

C

悩みや不安を
抱えている。
継続的に
学校を休んでいる。

C

学校は「チーム」として不登校支援に取り組んでいます。生徒支援委員会(学校で名称は異なる)では、学校の教職員及び市のSSW(スクールソーシャルワーカー)やSC(スクールカウンセラー)等の関係者と連携し、適切な支援の在り方を検討します。必要に応じて、以下の関係施設との連携も図ります。

「学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境」として、
宗像市では、以下のような学びの場があります。
お子さんの状況や要望等を踏まえて、利用をご検討ください。
※検討される際には、学校(担任や養護教諭等)にご連絡ください。

自分で学習を進め
学校復帰を目指したい



教育サポート室
エール

- 開設** 平成10年7月
- 特徴** 教科学習、体験学習 ほか
- 開室日** 原則、学校に準ずる
- 連絡先** 0940-36-8303

学校復帰よりも自己肯定感や
自立性・社会性を育みたい



子どもの自立サポートセンター
ホープ

- 開設** 令和5年4月
- 特徴** 安心して過ごせる居場所、
各種体験活動 ほか
- 開所日** 月～金曜日
- 連絡先** 0940-39-3102

家から一歩踏み出す
「出場所」を体験したい



玄海の家
Chot GKI

- 開始** 令和5年9月
- 特徴** 外に出るきっかけ
づくり、自然体験
活動ほか
- 開所日** 火～金曜日
- 連絡先** 0940-62-2511

家に来て支援をしてほしい
安心できる場所で支援を考えたい



家庭訪問
相談指導員派遣

エール・ホープに通うことが
できない児童生徒及びその
保護者に対する支援



宗像市 子育て・教育
サイト「おむハグ。」
Childcare and
Education

民間の施設で学びたい



民間施設(フリースクール)等
フレンドシップ登録団体

当該施設 学校、家庭との十分な連携
体制等を確認し、継続的に支援

3

進学先は どのようなところがあるの？ ～進路選択～

福岡県立高校では、様々な学びの場が準備されています。以下に示す学校の詳細は、福岡県のHPに掲載されています。お子さんに合った進学先をご検討ください。

全日制高校

定時制高校(昼間定時)

通信制高校(博多青松高校等)

定時制高校(夜間定時)

学びの多様化学校



福岡県
Fukuoka Prefecture

